

令和6年第5回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12月5日（6日・10日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	松尾 和樹 （白い会派）	<p>1. 学校施設における移動式エアコンの導入について（総務部長、教育委員会事務局長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>近年の猛暑対策や発災時での活用など、子どもたちや市民の安心・安全確保のために、学校施設に比較的安価での設置や運用が可能な移動式エアコンの導入の可能性について問う。</p> <p>質問1 熱中症アラート発令による体育館や運動場における使用制限の実態とその影響は。</p> <p>質問2 本年度に実施した暑さ対策の内容は。</p> <p>質問3 移動式エアコン導入に向けた教育・防災面からの市の見解は。</p>
2	田上 元一	<p>1. 『可児市市民参画と協働のまちづくり条例』について（市民文化部長、建設部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>本条例は、当初施行から約20年、一部改正施行から約15年が経過しようとしています。そこで、これまでの本条例の運用状況、その成果と評価、また今後のあり方について市の見解をお伺いします。</p> <p>質問1 本条例の運用状況はどうか。</p> <p>質問2 条例施行から約20年経過した現時点での本条例の成果、評価は。</p> <p>質問3 本条例の今後のあり方についてどう考えるか。</p>
3	野呂 和久 （可児市議会公明党）	<p>1. おくやみ手続きのワンストップ窓口（市政企画部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>おくやみ手続きのワンストップ窓口については、令和3年にも質問を行ったが、その後市民からワンストップ窓口の設置を望む声があったことや県下の自治体の動きや本市の人口動態の変化もあり改めて本市の考えを問う。</p> <p>質問1 岐阜県下のおくやみ窓口の設置自治体数と対応及びその後の本市の検討は。</p> <p>質問2 おくやみコーナー設置ナビの活用について。</p> <p>質問3 おくやみ手続きのワンストップ窓口の設置について。</p>
4	渡辺 仁美 （可児未来）	<p>1. アントレプレナーシップの導入を（教育長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>子どもたちが確かな学力を身につけること、豊かな人間性を育む事は皆の願いである。その実現にはアントレプレナーシップの視点が有用と思われるが、本市の教育事業に導入することへの市の見解は。</p> <p>質問1 アントレプレナーシップに対する本市の考えは。</p> <p>質問2 アントレプレナーシップ導入の検討について。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. ICT教育をどうすすめていくのか (教育長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>先ごろ発表されたユネスコ報告書は、「教育DXを先行していた国々で、読み書き・計算の力が決定的に落ちている」と警鐘を鳴らしている。GIGAスクール構想で進められるICT教育は大丈夫なのか。</p> <p>質問1 本市の小中学生の読解力、算数・数学などの学力について、ICT教育導入の影響はみられるか。</p> <p>質問2 第2期の「可児市ICT教育に関する基本計画」での情報モラル教育の内容、健康面での配慮、個人情報保護の対策は。</p> <p>質問3 デジタル教科書で、子どもの学ぶ意欲を高める指導や心の教育の充実が図れるか。</p> <p>質問4 主体的・対話的で深い学びのある授業をできるようにする支援は。</p> <p>質問5 県において、少人数学級を前進させる動きはあるか。</p>
6	酒向 さやか (会派きずな)	<p><u>1. 農業集落排水事業における今後の展望について (水道部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>供用開始から25年以上が経過した横市川及び矢戸川浄化センター。接続件数は上限に達し新規接続ができないと聞く。さらに今後施設の老朽化が進むと考えられる。農業集落排水事業の課題と今後のあり方について問う。</p> <p>質問1 農業集落排水事業の接続件数が上限に達しており、地域内で新規接続ができない状況であると聞く。主な要因と影響を受けている地域の実情は。</p> <p>質問2 接続上限がある中で今後、施設の拡張や容量の増加のための改良工事や、管路劣化に関わる維持作業に関して新たな技術の導入など検討していることはあるか。</p> <p>質問3 農業集落排水事業区域外で公共下水道への接続を望む市民の方の声もあるが、こうした市民意見や要望をどのように聞き、取り入れていくか。</p> <p>質問4 農業集落排水事業区域内での田畑の宅地化の進行や人口減少、浄化センター施設の老朽化をふまえた今後の下水道整備について、市としての方向性は。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
	酒向 さやか (会派きずな)	<p><u>2. 子どもや若者の意見聴取と施策への反映について（こども健康部長）</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>こども家庭庁が掲げている「こどもまんなか社会」の実現に向け、子どもや若者の意見を聴き、政策に反映させる取り組みが始まっている。本市における実施の方向性について問う。</p> <p>質問1 子どもや若者の意見聴取の取組について、具体的な目的や意義を可児市としてはどのように捉えるか。</p> <p>質問2 令和6年3月に策定された「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」を踏まえ、本市ではどのように意見聴取を行い、施策に反映させていくのか。</p> <p>質問3 子どもや若者の意見を聴くことについては、チャットやSNSの活用や教育機関との連携など、様々な手法が考えられるが、デジタルツールの活用について整備予定はあるか。</p> <p>質問4 子どもの意見聴取には心理的な安全や配慮が求められるかと思うが、本市においてはこの点についてどのような方法や体制を整えていくか。</p>
7	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. GIGA スクール構想の下で整備された端末の更新について（教育委員会事務局長）</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>GIGA スクール構想で整備したタブレット端末が更新時期を迎える。適切な端末処分、データ消去、再資源化の取組み及び小学校で使用していたアカウントを中学校へ引継ぎする取組みへの認識と課題について問う。</p> <p>質問1 適切な端末処分とデータ消去に対する具体的な取組み及び費用について。</p> <p>質問2 タブレット端末の再資源化（リサイクル・リユース）の取組みと小型家電リサイクル法の認定事業者との連携について。</p> <p>質問3 小学校のアカウントを中学校のアカウントに引き継ぐ取組みへの認識と課題について。</p> <p><u>2. 地方就職学生支援事業について（市政企画部長、経済交流部長）</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>UIJターン促進のため、地方への就職活動の交通費を支援する国の地方就職学生支援事業が新設された。本事業の実施等について本市の見解を求める。</p> <p>質問1 市内中小企業の経営環境に対する本市の認識とその支援策は。</p> <p>質問2 地方就職学生支援事業の取組みについて本市の見解は。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
8	板津 博之 (会派きずな)	<p>1. 衆議院議員選挙の検証と今後の取り組みは（選挙管理委員会書記長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>10月27日に執行された衆議院議員選挙は解散から公示までの期間が短く、選挙管理委員会から有権者への投票所入場券の発送が遅れるなどの不具合が生じた自治体もあったとのことだが、本市の状況について確認する。</p> <p>質問1 期日前投票者数は過去の選挙と比較してどうであったか。また、投票所入場券の発送遅延などのトラブルはなかったか。</p> <p>質問2 小選挙区、比例代表、国民審査の開票作業は予定通りに終了できたか。</p> <p>質問3 「投票支援カード」の周知と活用状況は。</p> <p>質問4 当日投票所の統廃合を含めた期日前投票所の見直しについての考えは。</p> <p>質問5 学校における主権者教育のサポートの実績は。</p> <p>2. 防災行政無線のデジタル化によるメリットは（総務部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>令和6年度と7年度予算で防災行政無線のデジタル化を行うことが示されたが、デジタル化することによるメリットと今後の防災行政無線のあり方について市の考えを問う。</p> <p>質問1 防災行政無線のデジタル化によるメリットは何があるのか。</p> <p>質問2 市民（自治会）へはいつどのように周知するのか。また、運用開始はいつ頃になる予定か。</p> <p>質問3 防災行政無線の使用（運用）について変更はあるか。</p> <p>質問4 学校や地区センターなどにある地区遠隔装置での使用は今後どうなるのか。</p> <p>質問5 「防災無線」電話で確認サービスの利用状況は。</p> <p>質問6 消防団が使用しているMCA無線との関連は。また、現在使用しているMCA無線は今後も継続して使っていくのか。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
9	田口 豊和 (可児未来)	<p><u>1. 交通弱者（身体障がい者）の安全な移動に向けて（建設部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>ユニバーサルデザインの道路整備は重要だが、全てを即座に整備することは困難であるため、安全な道路状況の情報を効果的に周知する方法を検討すべきと考えるが、そのための方法について質問する。</p> <p>質問1 ユニバーサルな道路環境の実現に向け道路・歩道等の整備計画はどのように進めて行くのか。</p> <p>質問2 バリアフリーマップの作成に関し検討されたことはあるか。</p> <p>質問3 バリアフリーマップ等を整備するにあたり、市民が主体となって作成する場合、行政はどのような連携・協力出来るか。</p>
10	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. マイナ保険証より今の医療保険証が便利で確実（福祉部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>新規発行が廃止される国民健康保険証は確実だ。マイナ保険証の利用率は9月時点で 13.87%と低迷する。トラブル続きのマイナ保険証は強要せず、国保保険証を受継ぐ「資格確認書」を全員に交付すべきだ。</p> <p>質問1 マイナ保険証の利用登録の推奨で、これまでのシステムと何が変わるのか。</p> <p>質問2 国保医療で被保険者資格の確認のしくみ変更で確実に対応できるか。マイナ保険証利用の場合について、具体事例から対応と問題点を確認する。</p> <p><u>2. 小中学校・体育館等の空調（冷房）設備設置を（教育委員会事務局長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>真夏の高温が子どもの命の危険に繋がる事態が心配される。令和5年度から、熱中症への対応をしているが学校体育館への冷房空調設置が遅れたままだ。今年度中に方針化を検討すべきだ。</p> <p>質問1 学校体育館の空調（冷房）設備の設置を本格的に検討すべきだ。考えはあるか。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
11	川上 文浩 (可児未来)	<p><u>1. 本市のハラスメント発生状況と対策について（市政企画部長、総務部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>ここ数年、国会議員や地方議員、地方自治体首長や公務員による各種のハラスメントが報告され、大きな社会問題となっている。本市におけるハラスメント等の発生状況とその対策について問う。</p> <p>質問1 本市におけるハラスメント等発生状況は。 質問2 本市の公益通報に対する受け入れ態勢と通報件数は。 質問3 ハラスメントの職員研修など周知する機会は。 質問4 カスハラの実況と対策について。 質問5 警察など外部との連携は。 質問6 被害者のメンタルヘルスケアなどの準備は。</p>
12	大平 伸二	<p><u>1. 災害時の代替給水「湧き水、井戸水」の取り組みを問う（総務部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>自然災害などにより水道施設が機能不全に陥った際に用いる代替給水について、可児市地域防災計画の地震対策第2章事前対策で「湧き水、井戸水等の把握に努める」と述べている。本市の代替給水の取り組みを問う。</p> <p>質問1 全市内の代替給水地(湧き水、井戸)の把握はしていますか。 質問2 代替給水地の明示化、位置情報公開の状況をお尋ねします。 質問3 民間井戸の活用も含めた代替給水と利用計画についてお聞きします。</p>
13	高木 将延 (会派きずな)	<p><u>1. 広域防災での地域連携、市民理解について（総務部長、市民文化部長、建設部長、水道部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>大災害が発生した場合、整備が進められている可児市運動公園は広域防災拠点としての利用が想定されている。整備状況、他自治体との連携、市民理解について、本市の見解を問う。</p> <p>質問1 可児市運動公園の防災施設整備について。 質問2 可児市運動公園へのアクセス道路について。 質問3 坂戸配水池の耐震について。 質問4 広域防災における他自治体との連携について。 質問5 広域防災の市民周知について。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。